



コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	西陣織工業組合 理事長 舞鶴 一雄
補助事業テーマ	京都染織産業XR推進事業
事業実施期間	令和2年10月12日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍の深刻な状況を克服する3団体協働の取組 ② 対面催事に代わる新たな顧客開拓へのチャレンジ ③ 新たなマーケティング手法の獲得と若手人材の育成
事業の実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ① 西陣織、京友禅、丹後織物の3産地組合でコンソーシアムを設置。そのもとに事業区分に対応して、XR展示場プロジェクト(pj)、XRコンテンツpj、XR広報pjを設置し事業推進活動を行う。3pjが開催した20回の会議ミーティングは、オンラインでの開催が主で、ポストコロナのビジネス展開の修練場ともなった。 ② 所期の目標に沿って、インターネットやXR(クロスリアリティ)技術の活用により、物理的接触を伴わずに内外顧客へのプロモーションを可能にする仕組み実現にチャレンジした。 京都のCG街並みにXR合同展示場、VR染織工房ツアーを構築するとともに、特殊撮影によるVR空間での着物ショーを完成させた。これまでの対面接客、集客イベントに代わる新しい接客、プロモーション能力の修得と仕組みの実現に大きく近づいた。 ③ 事業の中核をなすプロジェクトチームには若手組合員が選抜参画し、XR技術やCG等の最先端技術に接するとともに、リモート会議等の運用参加によりこれまで培ってきた伝統の商習慣や技術との融合転換に対する技術修得を得た。伝統和装産地の今後の振興に力強い役割を果たしてくれるものと期待が大きい。今後の課題としては、本事業で得た成果をどのように需要の拡大や新販路の開拓に結び付けていくかである。 <div style="display: flex; align-items: center;">   </div>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ○今回得た成果は、3産地のECサイト等との連動により新たな販路開拓等のプロモーションとして利用促進を図ることとしている。 ○本事業成果は今後2年間技術的サポートを得られるので、さらに有効に活用するために3産地が継続して対応するよう計画している。 ○参加3団体はわが国和装業界のトップ産地であり、斯業振興への期待効果は大きい。また京都府内の伝統産業界にとっても先端取組事例として寄与するものと思料する。